本書の構成

ご注意



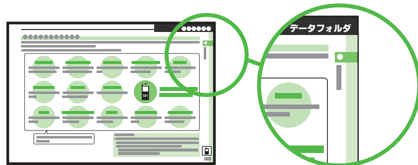
本書は、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。設定が変更されていたり、他の機能が動作しているときなどは、動作が異なったり、動作しないことがあります。また、本書内の画面は実際の画面表示とは異なります。操作の目安としてご利用ください。

パラパラめくって探す

本機でできることを見つけましょう。

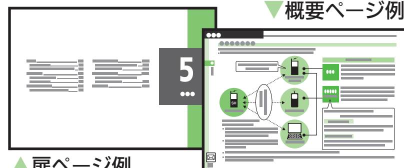
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端には機能やサービス名などを記載しています。気になる言葉を探しましょう。



●項目の開始ページでは、上の例のように大きく機能やサービス名などを記載しています。以降のページでは小さく記載しています。

章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。



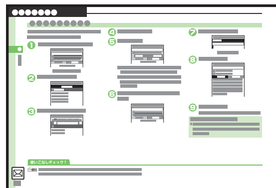
▼概要ページ例

▲扉ページ例

●章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください。（一部ない章もあります。）

説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

●基本操作パターン



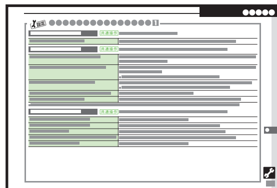
機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章の前半にあります。

●応用操作パターン



機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

●設定操作パターン



全般的な設定を説明しているページです。「**共通設定**」の章にあります。

●上記パターンのほか、各機能やサービスで動作がおかしいときなどに確認する「**こんなときは**」が各章末にあります。（一部ない章もあります。）

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。



●「**目次**」には、ページ端の機能やサービス名が記載されています。また、各章の扉ページに入っている「**章目次**」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的で引ける2つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。



●本機内の用語があいうえお順に並んでいる「**用語索引**」と、「**閲覧する**」「**保存する**」などの目的別にまとめた「**目的別索引**」を「**資料／付録**」の章に掲載しています。ご活用ください。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「メニュー一覧」がおすすめです。



●「**資料／付録**」の章の「**メニュー一覧**」は、本機のメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここから説明ページが確認できます。

画面に表示されるマークの意味を知りたいときは、「マークの見かた」をご覧ください。



●「**準備／基礎知識**」の章にある「**画面とマークの見かた**」には、画面に表示されるマークの意味をまとめた「**マークの見かた**」の項目があります。知らないマークが表示されたときに確認しましょう。

表示やマークの意味を探す

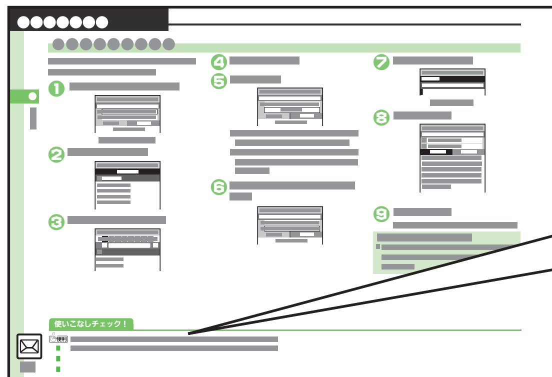
気になる項目やマークを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の見かた P.iv
目次／付属品 P.vi

基本操作

各機能の基本操作を画面を中心にやさしく説明しています。



くわしい仕様を知りたいとき

「資料／付録」の章の「仕様」をご覧ください。文字数や件数、時間など、詳細な仕様を確認することができます。



「使いこなしチェック！」を活用しましょう

このページで説明している機能に関するおもな応用操作を紹介しています。この機能をもっと使いこなしたい方におすすめです。

応用操作

各機能の応用操作をボタン操作中心に簡単に説明しています。



共通操作

あとに続くサブタイトルの操作に共通する操作を示しています。この共通操作を行ったあと、続けてサブタイトルの操作を行ってください。



この機能のいろいろな応用操作をしたいとき

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作

本機の共通設定操作を表形式で説明しています。

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

こんなときは

動作がおかしいときの確認や対応の方法などを説明しています。



よくある疑問や事例を記載しています。

操作にあたってのご注意

- 本書は、特にことわりがない限り、本機を開いた状態（オープンポジション：☞P.1-2）で、待受画面（☞P.1-6）からの操作を中心に説明しています。

目次／付属品 P.vi

8 カメラ／静止画編集

9 動画／音楽

10 S!アプリ／ウィジェット

11 ツール

12 ニュース／エンタメ

13 セキュリティ

14 データフォルダ／メモリカード

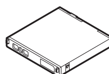
15 通信／バックアップ

16 共通設定

17 資料／付録

付属品

■電池パック（SHBCR1）



- 付属品／オプション品については、お問い合わせ先（☞P.17-41）までご連絡ください。
- 充電器／イヤホンマイクは、ソフトバンクが指定したオプション品を使用してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠危険



本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）・卓上ホルダー（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。



分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。



高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告



本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください。）



落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。



充電端子や外部機器端子、メモリカードスロットに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。


禁止

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。


指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。


指示

電池パックの取り扱いについて

⚠危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。


禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。


禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。


禁止

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。


指示

⚠警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。


指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。


指示

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。


指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。


指示

⚠注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。


禁止

本機の取り扱いについて

⚠警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

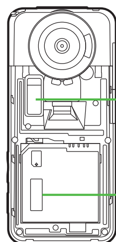

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意事項:
当製品に使用のモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整等の操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。修理は、指定のサービスステーションに限定されています。

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001

■モバイルライト光源LED特性
a) 連続発光
b) 波長
白:400-700nm
c) 最大出力
白:1.4mW(内部4.8mW)

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社(の乗務員)の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

モーションコントロール操作時は、周りの安全を確認したうえで、本機をしっかり握り、強く振りすぎないでください。

人や物に当ったり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。(使用材料:☞P.17-18)

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。


指示

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。


禁止

本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。


指示

デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。


指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。


指示

充電器（オプション品）の取り扱いについて

⚠警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。


禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
- ACアダプタ（オプション品）：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）
- シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

また、海外旅行用として、市販されている「**変圧器**」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。


禁止

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。


電源プラグを抜く

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。


指示

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持って、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。


電源プラグを抜く

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。
火災の原因となります。


指示

シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災などの原因となります。


禁止

充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。


指示

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。


濡れ手禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。


禁止

⚠ 注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。



充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



ACアダプタ（オプション品）をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。



通電中は卓上ホルダー（オプション品）の充電端子に長時間触れないでください。
低温やけどになる恐れがあります。



医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「**医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針**」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「**電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書**」（平成13年３月「**社団法人電波産業会**」）の内容を参考にしたものです。

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。



お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本体／メモリカードに登録したデータ（電話帳・画像・サウンドなど）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話やデジタルテレビ視聴が困難になることがあります。また、通話・デジタルテレビ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話やデジタルテレビ映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- メモリカード（市販）をご利用になるときは、あらかじめメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- **傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。**
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
  米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

お取り扱いについて

- 本機は防水仕様ではありません。水に濡らしたり、湿度の高い場所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手に持って歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光があたらないように、バッグなどに入れてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因となることがあります。
- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 外部機器端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作を起こしたり、破損することがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。
- メモリカードの使用中は、メモリカードを取り外したり、本機の電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 卓上ホルダー（オプション品）は自動車内で使用しないでください。振動により、故障の原因となります。

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■使用上の注意事項

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「**他の無線局**」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。

2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター
ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
[一般電話からおかけの場合、「**お問い合わせ先**」(☞P.17-41)を参照してください。]

- **周波数帯について**
  この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4FH1

Wi-Fi(無線LAN)について

無線LAN(以降「**Wi-Fi**」と記載)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA 機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります。(特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります。)
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

■使用上の注意事項

本機のWi-Fiの周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「**他の無線局**」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Wi-Fiを使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。

2 万一、Wi-Fiの使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fiの使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター
ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
[一般電話からおかけの場合、「**お問い合わせ先**」(☞P.17-41)を参照してください。]

- **周波数帯について**
  この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

2.4DS4/OF4

■Bluetooth®との同時利用について

Wi-Fi(IEEE802.11b/g)は、Bluetooth®と同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くでBluetooth®機器を利用したり、本機のBluetooth®が「**On**」になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth®機器の利用を中止したり、本機のBluetooth®を「**Off**」にしてください。

- 本機のWi-Fiで設定できるチャネルは1-13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。
- フランスなど、一部の国／地域では、Wi-Fiの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

機能制限について

本機を機種変更／解約したり、長期間使用しなかったときは、次の機能が利用できなくなります。

- カメラ、メディアプレイヤー、S!アプリ、テレビ

モバイルカメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

著作権等について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権(パブリシティ権)があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

動画の撮影／再生の技術には「**MPEG-4**」が使われています。
This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.
Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.



本機は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。
RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。



Powered by JBlend™.
Copyright 1997-2009 Aplix Corporation.
All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。



microSDHC™、microSD™、miniSD™はSD Card Associationの商標です。

NetFront®

本製品はインターネットブラウザおよびSMILプレーヤとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront SMIL Playerを搭載しています。
Copyright© 2009 ACCESS CO., LTD.
ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

IrSimple™、IrSS™およびIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.



The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「**Wi-Fi CERTIFIED™**」という認定が与えられています。Wi-Fiロゴがついた製品と相互接続が保証されます。
IEEE802.11bおよびIEEE802.11gに対応しております。



Wi-Fi Protected Setup™(WPS)で、無線LANの接続設定内容(SSIDや認証方式、暗号キーなど)をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。



Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA®、WPA2®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。

Microsoft、PowerPoint、Excelは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Powered by MascotCapsule®
Powered by MascotCapsule®/3DView package™
MascotCapsule® is a registered trademark of HI CORPORATION
©2002-2009 HI CORPORATION. All Rights Reserved.

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.
FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「**おサイフケータイ**」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。


ADOBE®
FLASH®
ENABLED

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™ テクノロジーを搭載しています。
Adobe Flash Lite Copyright © 2003-2007
Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe、Flash、およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

お目覚めTV、ベールビュー、VeilView、スマートリンク、見せかけコール、スマートリサイズズーム、AQUOS、AQUOS SHOT、チェイスフォーカス、スピンぐるメニュー、おまかせアルバム、プリティアレンジカメラ、アニメビューはシャープ株式会社の登録商標または商標です。



ドキュメントビューアは、Picsel Technologiesにより実現しています。
Picsel, Picsel Powered, Picsel Viewer, Picsel File Viewer, Picsel Document Viewer, Picsel PDF ViewerまたはPicselキューブロゴはPicsel Technologiesの商標または登録商標です。

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

BookSurfingは株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。

「**ジーニアスモバイル英和辞典**」©2005-2008 Taishukan
「**ジーニアスモバイル和英辞典**」©2005-2008 Taishukan
「**明鏡モバイル国語辞典**」©2005-2008 Taishukan

- 「**ジーニアス英和辞典MX.net**」
©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「**ジーニアス和英辞典MX.net**」
©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「**明鏡国語辞典MX.net**」
©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009
- 「**イミダス百科**」©集英社
- 「**日本大百科全書(ニッポニカ)(ニッポニカ・プラスを含む)**」「**デジタル大辞泉**」「**プログレッシブ英和中辞典**」「**プログレッシブ和英中辞典**」©小学館
- 「**Amazon.co.jp**」は、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- 「**ホットペッパーFooMoo**」
©RECRUIT
- 「**家庭医学大全科**」
©Houken 2004
- 「**医者からもらった薬**」
©Shigeru Kimura/Iyakuseidokenkyukai 2008
- 「**Yahoo!知恵袋**」
©Yahoo Japan



EUPHONY™は、DiMAGIC(ダイマジック社)の仮想音源処理技術を含む総合的な音質向上技術の商標です。



ダイナミックレンジ補正は、Apical Limitedのiridixテクノロジーを使用しています。

「**らくらく瞬漢ルーペ™**」は株式会社アイエスピーの商標です。

PhotoSolid®、FaceSolid®、MovieSolid®、FrameSolid®、PhotoScouter®、TrackSolid®、StroboPhoto®、Morpho Effect Library™は株式会社モルフォの登録商標または商標です。



本製品は、沖電気工業株式会社の顔認識エンジンFSE(Face Sensing Engine)を使用しています。
FSEおよびFSEロゴは沖電気工業株式会社の商標です。

AOSS™は株式会社 バッファローの商標です。

「**キャラタイム**」および「**ケータイ係長**」はプライムワークス株式会社の登録商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「**Yahoo!**」および「**Yahoo!**」「**Y!**」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

S!アプリ、S! GPSナビ、モバイルウィジェット、S!速報ニュース、S!情報チャンネル、S!ともだち状況、S!一斉トーク、ちかチャット、S!電話帳バックアップ、お天気アイコン、ダブルナンバー、きせかえアレンジ、TVコール、生活アプリ、インプットメモリ、着デコ、PCメール、PCサイトブラウザ、マルチジョブ、デコレメール、S!メール、フィーリングメール、位置ナビ、スカイメール、写メール、ムービー写メール、安心遠隔ロックはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【940SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明（技術基準適合証明）を受ける必要があります。この携帯電話機【940SH】も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは0.501 W/kgです。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.382W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【940SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
この携帯電話機【940SH】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2 W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.446W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

* 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

Read safety precautions before using handset.

- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank Mobile is not liable for any damages resulting from use of this product.

These labels indicate the degree of risk from improper use. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of serious injury or damage to property from improper use

These symbols indicate prohibited or compulsory actions. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

Prohibited	Prohibited actions
Do Not Disassemble	Disassembly prohibited
Avoid Liquids Or Moisture	Exposure to liquids prohibited
Do Not Use Wet Hands	Use with wet hands prohibited

Compulsory	Compulsory actions
Disconnect Power Source	Unplug Charger from outlet

Handset, Battery, USIM Card, Charger (Sold Separately) & Memory Card (Sold Separately)

⚠ DANGER

Use specified battery, Charger (sold separately) and Desktop Holder (sold separately) only.
Non-specified equipment use may cause battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.


Compulsory

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.
May cause fire, injury, electric shock or malfunction. Battery may leak, overheat, burst or ignite.
Modifying handsets is prohibited by the Radio Law and subject to a penalty.


Do Not Disassemble

Do not expose handset or related hardware to liquids.
Do not let liquid-exposed handset/related hardware remain wet after exposure to water, pet urine, etc.; do not charge wet battery. May cause overheating, electric shock, fire, injury or malfunction. Use handset and related hardware in an appropriate place properly.


Avoid Liquids Or Moisture

Do not charge battery in or expose handset or related hardware to extreme heat (e.g., near fire or sources of heat, in direct sunlight, inside vehicles, etc.).
May cause warping/malfunction; battery may leak, overheat, ignite or burst. Handset or related hardware may become hot to the touch, leading to burn injuries, etc.


Prohibited

Do not force battery/Charger into handset. Check the direction and retry.
Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.


Prohibited

⚠ WARNING

Do not place handset, battery or Charger in/on ovens, microwave ovens, pressure cookers, induction stoves or other cooking appliances.
Battery may leak, overheat, burst or ignite. Handset/Charger may overheat, emit smoke, ignite, malfunction, etc.


Prohibited

Keep handset off and Charger disconnected near gas stations or places with fire/explosion risk.
Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion; power handset off before using Osaifu-Keitai® at gas stations (cancel IC Card Lock beforehand).


Compulsory

Do not apply strong shocks or impacts.
Do not drop/throw handset or related hardware. Battery may leak, overheat, burst or ignite, resulting in fire, electric shock, malfunction, etc.


Prohibited

If there is unusual sound/odor, smoke or any other abnormality:
Continued use may cause fire, electric shock, etc.; grasp plug to disconnect Charger, power handset off, then remove battery, being careful not to burn or injure yourself.


Compulsory

Keep liquids (water, pet urine, etc.) or conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.) away from charging terminals, External Device Port or Memory Card Slot.
May cause short circuit, resulting in fire, malfunction, etc.


Prohibited

⚠ CAUTION

Do not place handset or related hardware on unstable surfaces.
Handset or related hardware may fall, resulting in injury, malfunction, etc.; be especially careful when Vibration is set or while charging.


Prohibited

Keep handset and related hardware out of infants' reach.
Infants may choke from swallowing handset or related hardware or be injured, etc.


Compulsory

If your child is using handset/related hardware, explain all instructions and supervise usage.
Misuse may cause injury, etc.


Compulsory

Battery

⚠ DANGER

Read battery label to confirm battery type; use/dispose of battery accordingly.

Symbol on Label	Battery Type
Li-ion00	Lithium-ion

Do not dispose of battery in fire.
Battery may leak, burst, ignite, etc.


Prohibited

Do not damage battery (with a nail, hammer, foot, etc.) or subject it to strong impacts or shocks.
Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.


Prohibited

Keep wire or other metal objects away from battery terminals. Do not carry/store battery with conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).
Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.


Prohibited

If battery fluid gets in eyes, do not rub; rinse with water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.


Compulsory

⚠ WARNING

If battery fluid contacts skin or clothes, discontinue handset use and rinse with clean water immediately.
May cause skin damage.


Compulsory

If battery does not charge properly, stop trying.
Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.


Compulsory

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery, being careful not to burn or injure yourself. Avoid fire sources.
Continued use may cause battery to leak, overheat, burst, ignite, etc.


Compulsory

Keep battery away from pets.
Pet bites may cause battery to leak, burst, overheat, ignite, etc.


Compulsory

⚠ CAUTION

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse.
Tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.


Prohibited

Handset

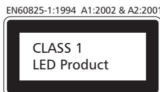
⚠ WARNING

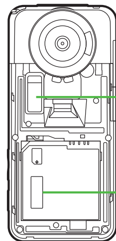
Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Prohibited

CAUTION:
Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001





Mobile Light

CAUTION-CLASS 2
LED RADIATION WHEN
OPEN DO NOT STARE
INTO THE BEAM

■**Mobile Light LED Properties**

a) Emission Duration: Continuous
b) Wavelength
White: 400 - 700 nm
c) Maximum Emission Output
White: 1.4 mW (4.8 mW inside handset)

Do not use handset while driving or cycling.
Accidents may result.
Phone use while driving or cycling is prohibited by law and subject to a penalty; park in a legal parking space beforehand.



Power handset off near electronic devices that employ high precision control systems or weak signals.
May cause electronic malfunctions, etc.
Be especially careful near the following devices:
Hearing aids, implanted pacemakers/ defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.



Power handset off before boarding aircraft to avoid radio waves from interfering with aircraft operation.
If mobile phone use is allowed on board, follow airline or cabin crew instructions regarding handset use.



Users with a heart condition should adjust ringtone Vibration and Volume as needed.
May cause heart damage.



If thunder is heard while outdoors, power handset off; find cover.
There is a risk of lightning strike or electric shock.



Do not look into Infrared Port during infrared transmissions.
Eyesight may be affected.



Confirm there is ample space for Motion Control use; hold handset firmly and shake it gently.
Handset may slip, resulting in injury or breakage.



⚠ CAUTION

Do not use handset when it may affect a vehicle's electronic equipment.
Handset use inside vehicles may cause electronic equipment to malfunction, resulting in accidents.



If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.
Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.



Keep handset away from magnetic cards, etc.
Data on bank cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be lost.



Do not swing handset by strap.
May harm self or others; strap may break, resulting in injury or handset malfunction/breakage.



Handset may become hot while in use, especially at high temperature.
Prolonged contact with skin may cause burn injuries.


Compulsory

Always maintain some distance from Speaker while ringtones, music or other handset sounds play.
Excessive volume may damage ears or hearing.


Prohibited

Keep fingers, straps, etc. outside when opening/closing handset.
May cause injury, breakage, etc.


Compulsory

Watch TV from a distance in good light.
Watching in poor light or too close may affect eyesight.


Compulsory

Moderate handset volume when using Headphones.
Excessive volume may damage ears or hearing.


Compulsory

Charger (Sold Separately)

⚠ WARNING

Do not cover/wrap Charger while charging.
Charger may overheat, resulting in fire, malfunction, etc.


Prohibited

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire, malfunction, etc.

- AC Charger (sold separately): AC 100V-240V Input
- In-Car Charger (sold separately; use in negative earth vehicles only): DC 12V/24V Input

Do not use power adapters. Using Charger with step-up/step-down transformer may cause fire, electric shock or malfunction.


Prohibited

Leave Charger unplugged during periods of disuse; grasp plug to disconnect it.
May cause electric shock, fire or malfunction.


Disconnect Power Source

Use only the specified fuse for In-Car Charger (sold separately).
Non-specified fuse may cause fire or malfunction. See In-Car Charger manual for details.


Compulsory

If liquids (water, pet urine, etc.) seep inside Charger, grasp plug and disconnect it immediately.
May cause electric shock, smoke or fire.


Disconnect Power Source

If plug is dusty, grasp it and disconnect Charger, then clean with dry cloth.
Fire may result.


Compulsory

Do not use In-Car Charger (sold separately) in positive earth vehicles.
May cause fire, etc. Use in negative earth vehicles only.


Prohibited

Plug Charger firmly into the outlet, keeping the plug and Charger/ Desktop Holder charging terminals away from conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).
May cause electric shock, short circuit, fire, etc.


Compulsory

Do not touch Charger plug with wet hands.
May cause electric shock, malfunction, etc.


Do Not Use Wet Hands

Do not touch Charger if thunder is heard.
May cause electric shock, etc.


Prohibited

⚠ CAUTION

Grasp plug and disconnect Charger before cleaning.
May cause electric shock, etc.


Disconnect Power Source

Always grasp plug (not cord) to disconnect Charger.
Pulling the plug by cord may damage cord, causing electric shock, fire, etc.


Compulsory

Do not subject AC Charger (sold separately) to strong shocks or impacts while it is plugged into the outlet.
May cause malfunction or injury.


Prohibited

Do not touch charging terminals of Desktop Holder (sold separately) while it is connected to the outlet.
May cause burn injuries.


Prohibited

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "**Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment**" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "**Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc.**" (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

⚠ WARNING

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.
Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators.


Compulsory

If you intend to use electronic medical equipment other than implanted pacemaker/defibrillator outside medical facilities, consult the vendor on radio wave effects.
Radio waves may interfere with electronic medical equipment.


Compulsory

Observe these rules inside medical facilities to avoid effects of radio waves on electronic medical equipment:


Compulsory

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals.
- Even in lobbies or other places where handset use is permitted, keep handset off near electronic medical equipment.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Power handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near.
Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.


Compulsory

General Notes

General Use

- SoftBank Mobile is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of files saved on handset/Memory Card. Keep separate copies of Phone Book entries, etc.
- Handset transmissions/TV signal reception may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- For proper use of Memory Card (sold separately), read the manual beforehand.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.
- An export license may be required to carry the handset into other countries if it is to be used by or transferred to another person. However, no such license is required when you take the handset abroad for personal use on a vacation or business trip and then bring it back.
  Export control regulations in the United States provide that an export license granted by the US government is required to carry the handset into Cuba, Iran, North Korea, Sudan or Syria.

Handset & Hardware Care

- Handset is not waterproofed. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in damp places (restroom, bath/shower room, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may seep inside handset causing malfunction.
- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank Mobile is not liable for any resulting damages.
- Use handset within 5°C - 35°C (35% - 85% humidity).
- Avoid extreme temperatures or direct sunlight.
- Malfunction resulting from misuse is not covered by the warranty.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Battery may not charge properly if ports/terminals are obstructed by dust, etc. Clean with dry cloth, cotton swab, etc.
- Clean handset with soft dry cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Avoid scratching Display.
- Avoid heavy objects or excessive pressure. May cause malfunction or injury.
  - Do not sit on handset in back pants pocket.
  - Do not place heavy objects on handset inside handbags, packs, etc.
- Connect only specified products to External Device Port. Other devices may malfunction or cause damage.
- Always power handset off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.
- Do not remove Memory Card or power handset off while using the card; may result in data loss or malfunction.
- When walking outside, moderate handset volume to avoid accidents.
- Do not use Desktop Holder (sold separately) inside vehicles. Vibration may damage handset, etc.

Bluetooth® Function

SoftBank Mobile is not liable for any damages resulting from data/information leakage due to use of handset Bluetooth® function.

■Precautions

The frequency band utilized by handset Bluetooth® function is shared with industrial, scientific or medical equipment, including household microwave ovens, etc., and used by radio stations, amateur radio stations, etc. (hereafter "other radio stations").

1 Before using Bluetooth®, visually confirm that no other radio stations sharing the same frequency band are in use nearby.
2 Should interference occur between handset and other radio stations, move or cancel Bluetooth® function immediately.

3 For additional information and support, contact us at the following number.
SoftBank Mobile Customer Center, General Information
From a SoftBank handset, call toll free at 157 for General Information.
From landlines, see First Step Guide (**P.xvii** "Customer Service").

- **Frequency Band**
  This radio station utilizes 2.4 GHz band with FHSS modulation. Maximum transmission radius is 10 meters (32 feet). It is not possible for the radio station to avoid using the frequency band of the mobile unit identification apparatus.

2.4FH1

Wi-Fi (Wireless LAN)

Wireless LAN (hereafter "Wi-Fi") uses radio waves to enable communication between compatible devices, thus allowing connection to a local area network from anywhere within the range. However, there is a risk of data interception unless security is established. It is advisable for the user to configure security settings on their own responsibility before using Wi-Fi.

- Do not use Wi-Fi near electrical appliances, audiovisual equipment or office automation equipment; may affect Wi-Fi transmission speed, availability, clarity, etc. (There is a possibility of interference especially when a microwave oven is in use.)
- The target access point may not be detected correctly if there are multiple access points nearby.

■Precautions

The frequency band utilized by handset Wi-Fi is shared with industrial, scientific or medical equipment, including household microwave ovens, etc., and used by radio stations, amateur radio stations, etc. (hereafter "other radio stations").

1 Before using Wi-Fi, visually confirm that no other radio stations sharing the same frequency band are in use nearby.
2 Should interference occur between handset and other radio stations, move or disable Wi-Fi immediately.
3 For additional information and support, contact us at the following number.
SoftBank Mobile Customer Center, General Information
From a SoftBank handset, call toll free at 157 for General Information.
From landlines, see First Step Guide (**P.xvii** "Customer Service").

- **Frequency Band**
  This radio station utilizes 2.4 GHz band with DSSS-OFDM modulation. Maximum transmission radius is 40 meters (131 feet).

2.4DS4/OF4

■Simultaneous Use with Bluetooth®

Both Wi-Fi (IEEE802.11b/g) and Bluetooth® use the 2.4 GHz band. Therefore, Wi-Fi transmission speed, availability and clarity may be affected when Bluetooth® device is used near handset or when handset Bluetooth® is active. Should interference occur, discontinue use of the Bluetooth® device or cancel handset Bluetooth®.

- This handset supports Wi-Fi channels 1 - 13. Handset will not connect to access points set to other channels.
- Available channels vary by country.
- For use of Wi-Fi on board aircraft, check with airline beforehand.
- In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Function Usage Limits

These functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation: Camera; Media Player; S! Applications; TV. After a period of disuse, these functions may be unusable; retrieve Network Information to restore usability.

Mobile Camera

- Mind your manners when using handset camera.
- Test the camera before capturing/recording special moments.
- Do not use handset camera in places where photography or videography is prohibited.

Portrait Rights

Portrait rights protect individuals' right to refuse to be photographed or to refuse unauthorized publication/use of their photographs. Portrait rights consist of the right to privacy, which is applicable to all persons, and the right to publicity, which protects the interests of celebrities. Therefore, photographing others including celebrities and publicizing/distributing their photographs without permission is illegal; use handset camera responsively.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Electromagnetic Waves

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 0168 ⓘ

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 940SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Battery - CAUTION

Use specified battery or Charger only.
Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5℃ and 35℃; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.
As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*.
Highest SAR value:

Model	At the Ear**	On the Body
940SH	0.481 W/kg	0.446 W/kg

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the Network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a handsfree device to keep the mobile phone away from the head and body.

*Please see Electromagnetic Waves on the left for important notes regarding body-worn operation.
**Measured in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
Highest SAR value:

Model	FCC ID	At the Ear	On the Body
940SH	APYHRO00108	0.305 W/kg	0.382 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at http://www.fcc.gov/oet/fccid under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table on the left).
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.phonefacts.net.